

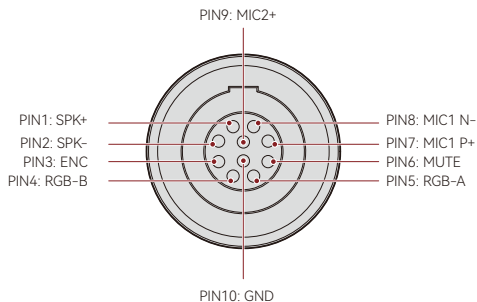
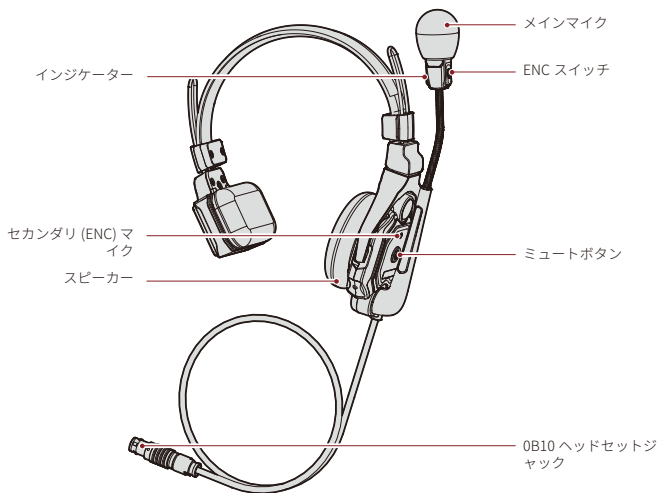


# Hollyland Wired Headset for the Solidcom C1 Pro Hub

取り扱い説明書

V1.0.0

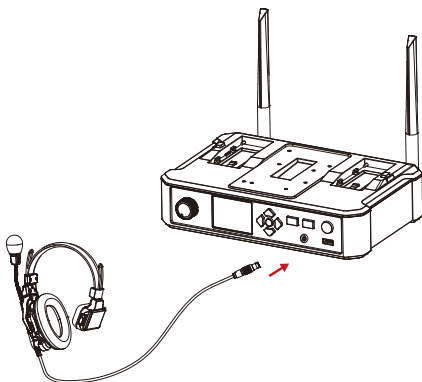
# インターフェイス



# クイックガイド

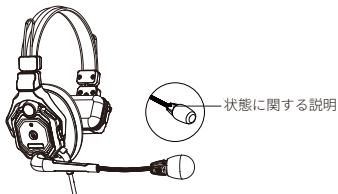
## 製品の設置と使用

### 有線ヘッドセットの取り付け



1. ハブの 0B10 ヘッドセットインターフェイスにヘッドセットを差し込み、時計回りにナットを回してヘッドセットを固定します。
2. マイクブームを下に動かすと、「カチッ」という音が聞こえます。その後、通話が可能となります。

### マイクブームインジケータの説明



1. ■ 緑色で点灯：ENC オフ
2. ■ 青色で点灯：ENC オン
3. ■ 赤色で点灯：ミュート

## クイックガイド

### ボタン/スイッチの説明

#### ① 通話 / ミュートボタン

1. ボタンを押すと、通話モードとミュートモードが切り替わります。ミュートモードになると、インジケータライトが赤に変化します。
2. ボタンを長押しすると通話モード（PTT 機能）になり、ボタンを離すとミュートモードになります。

#### ② ENC スイッチ



1. スイッチを ENC 位置に押すと、黄色が表示され、ENC が有効になります。
2. スイッチを ENC の位置から離れる方向に押すと、黒が表示され、ENC が無効になります。

## パラメータ

ワイヤー長	1.5メートル	
周波数特性	150Hz ~ 7kHz (変動範囲: ± 6dB)	
入力 SPL	115dBSPL 以上	
出力 SPL	標準 94 ± 3dBSPL (@94dBSPL、1kHz)	
マイクのタイプ	コンデンサマイク	
マイク感度	メインマイク	-41dBV@94dBSPL
	セカンダリマイク	-38dBV@94dBSPL
マイク極性パターン	メインマイク	単一指向性
	セカンダリマイク	無指向性
マイク出力インピーダンス	メインマイク	2.2k Ω
	セカンダリマイク	2.2k Ω
スピーカーのインピーダンス	32 Ω	
温度範囲	0°C ~ 45°C (動作時) -10°C ~ 60°C (保存時)	
ESD 性能	空気放電: ± 8kV 接触放電: ± 6kV	
総重量	ワイヤー込みで約 190g (6.7 オンス)	

## 安全上のご注意

バッテリーの過熱や爆発を防ぐため、製品を加熱装置（電子レンジ、IH 調理器、オーブンレンジ、電気ヒーター、電気圧力鍋、給湯器、ガスコンロを含むがこれらに限定されない）の近くまたは内部に置かないでください。

非正規の充電ケース、ケーブル、バッテリーを使用しないでください。非正規のアクセサリを使用すると、感電、火災、爆発などの危険が発生する恐れがあります。

# サポート

製品の使用中に何か問題や助けが必要な場合は、下記の技術サポートをご連絡ください。

 Hollyland User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com

## 宣言文：

すべての著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. の書面による承認がない限り、いかなる組織または個人も、いかなる形式でも、書面または図解コンテンツの一部または全部をコピーまたは複製したり配布することはできません。

## 商標に関する宣言文

すべての商標は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd. に帰属します。

## 注意：

製品のバージョンアップグレードなどの理由により、この取り扱い説明書は不定期に更新されます。本書は、特段の合意がない限り、使用上の手引きとしてのみ提供されるものです。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。

## FCC 要件

規制順守責任者より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本製品を操作するユーザーの権利が無効になることがあります。本製品は、FCC（米国連邦通信委員会）規則第 15 条の内容に準拠しています。

操作には、次の 2 つの条件を満たす必要があります：

- (1) 本装置が有害な干渉を引き起こさないこと。
- (2) 本装置は望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を受容しなければならないこと。

### FCC 放射線曝露声明：

本製品はテスト済みで FCC SAR 制限に適合しています。

### 注意：

本製品は、FCC 規則のパート 15 に基づきテストされ、クラス B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉を防ぐために、合理的なレベルの保護を提供することを意図しています。本製品は、無線周波数エネルギーを生成・使用・放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。また、特定の設置状況において干渉が発生しないという保証もありません。本製品がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合（機器の電源をオフおよびオンによって判断することができる）、以下の手段の一つ以上を適用してそれに対応するよう推奨されます：

受信アンテナの方向や位置を変える。

装置と受信機との距離を離す。

装置を受信機が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。

支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ／TV の技術者に相談してください。